

カンボジア通信

カンボジア教育支援基金 (KEAF-Japan) 会報

2015 年 12 月 77 号

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10-5
JICA地球ひろば気付

カンボジア教育支援基金事務局

info@keaf-japan.com

http://keaf-japan.com



＜17回総会報告＞

奨学金プログラム縮小へ

「サッカー教室」は別枠で継続
「円安」が財政を圧迫しています

カンボジア教育支援基金 (KEAF-Japan) は 11 月 1 日に東京・飯田橋の東京ボランティア・市民活動センターで第 17 回総会 (例年通り理事会と合同開催) を開き、2016 年 9 月の 2017 年度から奨学金プログラムを縮小することを決めました。4 年間継続してきた「サッカー教室」も 12 月の第 5 回から他の NGO との協力による別枠で継続を図り、「子どもの遊び教室」や「日本語教室」は開催を取りやめることにしました。理由は予算を確保できなくなったためです。

KEAF の財政はこの数年、縮小傾向に入っていました。活動は 9 年目に入り、活動に直接かわるスタッフはほとんどが後期高齢者の仲間入りし、同世代が中心の会員や支援者の皆さんも一緒に齢を重ねました。背景にはこの構造的な理由があります。しかし直接的な理由は円安が急進行したことです。

2012 年に 1 ドル 80 円台の円高に合わせて高校奨学生数を増やして金額も年間 1 ドル上げて 50 ドルにしたうえ、少数 (1 学年 1-2 人) ながら大学にも奨学生を広げました。そのすぐ後にアベノミクスによる円安が始まったのです。不明を恥じ、お詫びします。

総会ではこうした今年度および次年度に向けての活動方針を含めた 15 年度の活動報告と収支決算 (3 頁掲載)、および 16 年度活動計画とそのための予算 (4 頁掲載) を承認していただきました。会報でお知らせしてある 15 年度の活動および 16 年度活動の一部は省略して、16 年度活動計画の要点を説明します。



◇大学奨学金削減、高校生人数も圧縮

2015 年度の奨学生の枠は、継続および新規を合わせて高校生が 30 人増えて 166 人 (年額 50 ドル)、教員養成所学生 8 人 (同 100 ドル)、大学生 7 (同 500 ドル) の合計 181 人 (中途退学者が出て実数は 179 人)。高校奨学生は 2013 年度に「高橋基金」を頂戴して高校生奨学金の枠を広げてから 3 年目に入り、3 学年に増員分が行き渡りました。2016 年度はこの枠

を踏襲します。しかし次年度 (2016 年 9 月-2017 年 8 月) から計画全体を圧縮せざるを得ません。2016 年 6 月の新奨学生選考に向けて、学校側に理解を求めます (写真: 大学奨学生 5 人とプノンペンのお茶店で懇談)。

暫定的な削減案として、(1) 大学奨学生は毎年 1 人を維持するが、奨学金は継続受給学生を含めて 200 ドル引き下げて年間 300 ドルとする、(2) 高校奨学生は 17 年度新規学生から枠を半分程度減らして 3 年間で全体枠を 100 人程度にする、(3) 教員養成所奨学生の枠 8 人は維持一を考えています。

◇「教科書」打ち切り、教材支援に重点

2008 年から続けてきた教科書支援は原則として打ち切ることになります。これまでに 1 万数千冊の支援

を行い、役割は果たしたと考えました。政府の無償配布はまだ完全に行き渡ってはいませんが、学校側には散逸防止、共同使用、図書室活用などの工夫をしてもらいます。

代わりに各学校で開設されるようになった図書室の充実を目指して図書や教材に重点を移し、辞書、副読本、英語

カセット、理科実験用具、ノート、鉛筆、ボールペン、チョーク、(先生用の) パソコン用紙・インクなどの支援を増やします (写真: 生徒であふれるプレイトープ小中学校図書室)。



◇「サッカー教室」は「別枠」で

4年間続けた「サッカー教室」は打ち切ることになります。現地の生徒や子ども、学校側には継続の要望が強いのですが、やむを得ません。講師を務めてくれたサッカー指導者小林俊文先生（群馬県立渋川青翠高校教諭）やサッカー関係者と別枠で継続する道を探っています。

「サッカー教室」は2012年度に東芝国際交流財団の助成を受けて、「日本語」「子どもの遊び」「天体観測」の各教室とともに始めました。東芝財団の助成は1年だけで打ち切りとなりましたが、いずれのプログラムも大歓迎を受けていたので、KEAF独自のやりくりで継続してきました。「サッカー教室」はなかでも人気が高かっただけに残念です。他の「教室」も打ち切ることになります（写真：ボールを1人ずつ抱えて喜ぶアンサー小学校の幼稚園児）。



◇ホームページ再開

若い会員・支持者の手で2010年に開設したKEAFホームページは、管理運営の担当者がいろいろな事情で活動から離れたため、2012年半ばから開店休業になっていました。新しく若いITプロの協力者が見つかり、とりあえず10月発行の会報76号から会報掲載を再開しました。未掲載になっていた会

報63-75号も追いかけて順次掲載を進めています。

「カンボジア・ベトナム8日間の旅」の参加者募集をはじめ、KEAF活動のPR、支援拡大などに活用する態勢を整えていきます。

◇シニアツアー

最終募集

「カンボジア・ベトナム8日間の旅」は年内に最終募集を締め切り、年明けに参加者名簿を旅行社に出したいと思っています。詳しくは最後の8頁をご覧ください。

ミャンマー野党の大躍進に関心

若い力を集め、次期総選挙にのぞむ 訪日のカンボジア野党党首が語る

カンボジアの最大野党・救国党のサム・レンシー（Sam Rainsy）党首（66）が11月初旬、ケム・ソカー（Kem Sokha）副党首（62）らと来日しました。日程の最後の方で、日本のカンボジア支援民間団体との懇談会があり、KEAF-Japanとしても、カンボジアの現状をよりよく理解する一助になると思い、衆議院会館で開かれた懇談会に出席しました。

2時間にわたった会でレンシー党首は「（与党・人民党の）フン・セン首相は30年もの長きにわたって政権の座にいる。カンボジアの若い世代は人口の70%を占めるが、彼らはフン・セン政権以外に知らない。この政権による強圧政治、腐敗、経済格差の拡大しか経験がなく、カンボジアの発展のためには、変化が必要と感じ始めている。フン・セン政権はこうした状況をも当然知っており、最近のミャンマーでの野党・国民民主連盟（NLD）の大躍進に、極めて神経質になっている。ミャンマーと似たような状況だからだ」と述べました。

レンシー党首はフン・セン首相と対立し、暗殺の恐れなどの危機的状況乗り越えて2009年にフラン

スに亡命していましたが、シハモニ国王の恩赦で13年に帰国し、その直後に行われた総選挙（定数123）で55議席（改選前29議席）を獲得、現政権（90議席から68議席に後退）に打撃を与えました。総選挙は5年ごとに実施されるので、レンシー党首は「2018年の総選挙では、若い世代を中心に一層の躍進を目指す」と政権交代に意欲を見せましたが、「しかし、フン・セン政権は仮に選挙で敗れても政権を譲り渡すことはしないだろう。だから総選挙のときだけではない長期的な国際社会の監視が必要で、われわれの民主的な国造りへの闘いを見守ってほしい」と訴えました。

一方、われわれの支援活動との関係でちょっと気がかりなのは、ことし7月現政権がNGO法案を国民議会で可決、成立させ、内外の民間支援団体への監視を強めていることです。この点についてケム・ソカー副党首（元人権党党首）が発言、「われわれは引き続きNGO法の修正を求めていくし、次の総選挙で勝利し、政権交代が実現すれば、撤廃したい」と、18年総選挙への強い期待を表明しました。

KEAF-JapanはNGO法に抵触しない、いわばその外側での活動をしているので、今のところ、なんの影響ありませんが、引き続き、カンボジアの国内情勢には注意を払っていきたいと考えます（池内秀樹）。

カンボジア教育支援基金 (KEAFJAPAN)

2015年度 収支決算報告書
(自 2014年9月1日 至 2015年8月31日)

(円)

収 入			支 出		
科目	決算	予算	科目	決算	予算
I. 一般支援活動	788,532	934,300	I. 一般支援活動	1,207,852	1,243,100
1. 会費・寄付合計	788,532	934,300	1. 教材支援	384,599	300,000
年会費	401,000	393,000	教材・教科書	384,599	250,000
寄付カンパ	844,500	841,300	補助教材・運動用品	0	25,000
教育支援活動へ充当	△ 458,001	△ 300,000	雑費	0	25,000
雑収入	1,016		2. 支援活動費	514,214	592,400
受取利息	17		現地活動費	368,169	382,400
			渡航費補助	146,045	210,000
			3. 事務局運営費	309,039	350,700
			総会・理事会	3,950	8,800
			カンボジア通信	299,273	315,100
			諸経費	5,816	26,800
II. KEAF奨学金	269,000	225,000	II. KEAF奨学金	1,054,875	1,021,200
奨学金	269,000	225,000	高校生(@\$50×165人)	961,603	929,600
			教員養成(@\$100×8人)	93,272	89,600
			奨学金経費	0	2,000
小計 (I + II)	1,057,532	1,159,300	小計 (I + II)	2,262,727	2,264,300
III. 楓大学奨学資金	0	0	III. 楓大学奨学資金提出	381,810	394,600
			大学生(@\$500×6人)	381,810	392,000
			楓奨学金経費	0	2,600
IV. 教育支援	458,001	300,000	IV. 教育支援	458,001	300,000
一般支援活動収入より充当	458,001	300,000	サッカー教室	458,001	300,000
収入合計	1,515,533	1,459,300	支出合計	3,102,538	2,958,900

2015年度 活動別基金増減表
(自 2014年9月1日 至2015年8月31日)

	I 一般支援活動	II KEAF奨学金	III 楓大学生奨学金	IV 教育支援活動	合計
前期繰越高	366,515	2,460,319	797,201	0	3,624,035
当期収入	788,532	269,000	0	458,001	1,515,533
当期支出	-1,207,852	-1,054,875	-381,810	-458,001	-3,102,538
次期繰越高	-52,805	1,674,444	415,391	0	2,037,030

現金・預金 2015年8月31日現在 (円)

小口現金	40,128
小口現金 外貨	0
普通預金	184,947
郵便振替口座	1,811,955
合 計	2,037,030

2015年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する2015年度の収支を活動計画に基づき監査した結果、適正である事を認めます。

監 事

山 田 伸 代



カンボジア教育支援基金 (KEAFJAPAN)

2016年度 収支予算

(自 2015年9月1日 至 2016年8月31日)

(円)

収 入			支 出		
科目	予算	前年度決算	科目	予算	前年度決算
I. 一般支援活動	1,151,000	788,532	I. 一般支援活動	1,098,195	1,207,852
1. 会費・寄付合計	1,151,000	788,532	1. 教材支援	259,195	384,599
年会費	401,000	401,000	2. 支援活動費	515,000	514,214
寄付カンパ	750,000	844,500	3. 事務局運営費	324,000	309,039
教育支援活動へ充当	0	△ 458,001			
雑収入		1,016			
受取利息		17			
II. KEAF奨学金	270,000	269,000	II. KEAF奨学金	1,146,001	1,054,875
奨学金	270,000	269,000	高校生 (@\$50×171人)	1,048,401	961,603
			教員養成 (@\$100×8人)	97,600	93,272
小計 (I + II)	1,421,000	1,057,532	小計 (I + II)	2,244,196	2,262,727
III. 楓大学奨学資金	0		III. 楓大学奨学資金拠出	183,930	381,810
	0		大学生 (@\$300×5人)	183,930	381,810
IV. 教育支援	0	458,001	IV. 教育支援	0	458,001
一般支援活動基金より充当	0	458,001	サッカー教室	0	458,001
収入合計	1,421,000	1,515,533	支出合計	2,428,126	3,102,538

為替レート: @Y122.62/\$

2016年度 予算活動別基金増減表
(自 2015年9月1日 至2016年8月31日)

2015年度 決算活動別基金増減表
(自 2014年9月1日 至2015年8月31日)

(円)

	I 一般支援活動	II KEAF奨学金	III 楓大学生奨学金	合計
前期繰越高	-52,805	1,674,444	415,391	2,037,030
当期収入	1,151,000	270,000	0	1,421,000
当期支出	-1,098,195	-1,146,001	-183,930	-2,428,126
次期繰越高	0	798,443	231,461	1,029,904

(円)

	I 一般支援活動	II KEAF奨学金	III 楓大学生奨学金	IV 教育支援活動	合計
前期繰越高	366,515	2,460,319	797,201	0	3,624,035
当期収入	788,532	269,000	0	458,001	1,515,533
当期支出	-1,207,852	-1,054,875	-381,810	-458,001	-3,102,538
次期繰越高	-52,805	1,674,444	415,391	0	2,037,030

ありがとうございました

(2015年8月31日～11月30日)

年会費、寄付金、奨学金を振り込みくださった方々に心からお礼申し上げます(敬称略させていただきます)

(神奈川) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京) (東京)
 (神奈川) (神奈川) (東京) (千葉) (東京) (東京) (東京)
 (東京) (東京) (京都) (東京) (千葉) (東京) (東京)
 (東京) (東京) (東京) (東京) (奈良) (東京) (東京)
 (東京) (静岡) (福島) (神奈川) (長野) (東京) (東京)
 (東京) (神奈川) (東京) (東京) (東京) (東京) (神奈川)
 (東京) (東京) (秋田) (東京) (東京) (埼玉) (神奈川)
 奈川) (ドイツ) (千葉) (神奈川) (兵庫) (東京) (東京)
 (東京) (神奈川) (千葉) ※お名前は個人情報なので伏せて掲載しています。

※写真つき奨学生紹介の5、6、7頁は個人情報保護のため省略

物品支援ありがとうございました

(東京): サッカー用シューズ、ポロシャツ、Tシャツ、スウェットパンツなどウェア、メモ用紙、定規など。

(同): トートバッグ I ダースなど。 (同) 鉛筆、消しゴム、ノートなど段ボール 1 箱。

<最終募集> 《カンボジア・ベトナム 8 日間の旅》に参加しませんか

歴史と文化、民族の悲劇と希望に触れ

豊かな自然と美味しい料理を楽しむ

KEAF が支援している農村の

貧しいけど元気に学んでいる子どもたちを訪ねる

(日程) 2016 年 2 月 16 日 (火) - 23 日 (火)、7 泊 (帰途の機中泊を含む) 8 日の旅。猛暑の雨期 (4 月～9 月) は避け、乾季 (10～3 月) の過ごしやすい時期です。

(訪問先) ▽シエムレアップ: アンコールワットなどの遺跡群や淡水湖トンレサプの水上民族の村を訪問、伝統の宮廷ダンスの鑑賞など。

▽プノンペン: 王宮、博物館、プノムの丘、カンボジア戦争取材中に亡くなった国際ジャーナリスト慰霊碑などを訪問、KEAF が支援するプレイヴェン州農村を訪ねて(片道 2 時間のドライブ)、子どもや先生たちと交流。

▽ホーチミン: ベトナム戦争終結の舞台となった旧大統領官邸、戦争博物館、ベントイ市場などを訪問し、ドンコイ通りのショッピング。戦争中、米 B 52 爆撃機のじゅうたん爆撃を耐え抜いたゲリラの

地下トンネル基地 (ホーチミンから 60 キロのクチ) にも足を延ばし、メコンデルタに浮かぶタイソン島へのクルーズも。

▽ガイド: 全行程に日本語ガイドがつくほか、ベトナム、カンボジア戦争を現地取材した KEAF 会長・金子敦郎が案内役を務めます。

▽経費: 225,000 円 (2 人 1 部屋、1 人 1 部屋の場合は +58,000 円)。

▽申し込み: 締め切りは 12 月 25 日 (月)。参加者のリスト (名前、住所、電話番号) を年明けに日通旅行社に提出、渡航手続きを進めてもらう。

▽連絡先:

KEAF info@keaf-japan.com

または 金子敦郎

電話 03-3418-7003

Email att-akaneko@gol.com

